ハイパスフィルタ・120–1800 MHz

阻止域減衰量 ≥40 dB (DC–80 MHz). 筐体寸法 10 ± 0.2 × 7.5 ± 0.2 × 4 ± 0.3 mm.

RF 特性

項目	値
通過帯域	120–1800 MHz
通過帯域内挿入損失 [1]	≤2 dB
阻止域減衰量 [2]	≥40 dB
VSWR [1]	≤1.8:1

[1] 120–1800 MHz
[2] DC–80 MHz

設計定格 設計値

項目	値
動作温度	−40...+70 °C
保存温度	−55...+85 °C
許容電力	1 W

代表実測応答

周波数 (MHz)	S11 VSWR	S22 VSWR	S12 損失（dB）	S12 抑圧（dB）	S12 遅延（ns）
1	215.85	99.24	-71.68	-71.68	2.2
19	436.36	559.49	-48.06	-48.06	3.02
37	213.91	244.51	-53.26	-53.26	-15.16
54	76.01	79.44	-49.53	-49.53	-8.9
72	26.95	27.61	-54.79	-54.79	-24.42
90	6.22	6.69	-21.67	-21.67	2.27
108	1.15	1.15	-2.78	-2.78	16.96
126	1.16	1.13	-1.38	-1.38	7.5
143	1.24	1.24	-0.97	-0.97	4.74
161	1.21	1.22	-0.74	-0.74	3.31
179	1.15	1.17	-0.6	-0.6	2.54
197	1.1	1.13	-0.5	-0.5	2.03
214	1.06	1.1	-0.43	-0.43	1.7

代表実測応答

周波数 (MHz)	S11 VSWR	S22 VSWR	S12 損失（dB）	S12 抑圧（dB）	S12 遅延（ns）
232	1.03	1.08	-0.39	-0.39	1.44
250	1.04	1.08	-0.35	-0.35	1.24

機械仕様

項目	値
筐体寸法	10 ±0.2 × 7.5 ±0.2 × 4 ±0.3 mm
RF 端子	表面実装
品質グレード	産業用
パッケージRF端子の内縁間隔	8.8 mm
基板RFランドの内縁間隔	8.6 mm
対向するクリアランスの内縁間隔	7.2 mm
短辺方向のクリアランス開口幅	2.6 mm
パッケージRF端子幅	1.0 mm
基板RFランドの短辺方向幅	1.2 mm
パッケージRF端子の切り欠き径	Ø0.6 mm

実装とプリント基板レイアウト

底面視では、入出力を入れ替えられる2つのRF端子が対向する短辺の中央にあります。底面の斜線部はGNDです。基板中央寄りの各RFランドに50 Ω給電線を配線し、グラウンド銅箔との間隔を確保してください。フットプリントの周囲と下にグラウンドビアを設けてください。 推奨基板レイアウトには、誘電体厚0.254 mmのRO4350Bを使用します。 独立したキャビティへの実装を推奨します。十分な接地を確保するため、可能な限りパッケージの側面、上面および底面をアセンブリの金属筐体に密着させてください。接地が不十分だと阻止域の抑圧が低下します。220 °Cでのリフローはんだ付けに対応します。清掃時はフィルタを洗浄液に浸さず、表面のみを清掃してください。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。